

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	社会					授業形態			
科目コード	750081	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員			アクティブ ラーニング
担当教員名	酒井 喜八郎								
授業概要	<p>小学校社会科教員に必要な社会科授業の構想力、設計力、実践力を身に付けることを目指す。 現在の小学校社会科は、第3・4学年の地域学習、第5学年の産業学習、情報化社会の学習等、第6学年の歴史学習、憲法・政治学習等という内容構成になっている。一方、新学習指導要領では、新しい時代に必要となる資質・能力の育成と学習評価の充実が求められ、アクティブラーニングが重視されている。そこで、各学年の指導内容の基礎知識を習得するだけでなく、新学習指導要領に対応出来るような主題（ESD教育、情報リテラシー教育、主権者教育、観光教育など）を取りあげ、グループワークを取り入れながら、受講生とともに今後の社会科教育について考える講義を行う。また、社会科のフィールドワークも行い、体験学習をしながら社会認識を深める授業づくりについても考える。さらに、小学校現場での現職教育にあたる子どもの思考システムや教師と子どもの協同的な探究などの学習メカニズムを明らかにする授業研究の方法についても考えてみたい。教員採用や公務員試験によく出題される政治（憲法、国会のしくみなど）、経済（国際経済、円高ドル安）、歴史（日本史、世界史）、地理（地誌）等の問題の解説も随時行う。</p>								
関連する科目	教科教育法（社会）は必須である。								
授業の進め方と方法	全15回を通して、小学校社会科教員に必要な授業構想力、授業設計力、授業実践力が身につくように指導する。第1段階は、社会科の目標、授業づくりの基礎となる指導要領と教科書の内容を学ぶ。第2段階は、フィールドワークを実施し、学校現場で社会見学を企画し、体験学習を活かした授業づくりを考える。また、ESDや情報リテラシー、主権者教育、観光教育、地図帳・地球儀、ICTを活用した授業について講義する。第3段階は、第1、2段階の学習を活かして、各自授業づくりを行い模擬授業を学校現場ですぐに役立つ即戦力を培う。								
授業計画【第1回】	第1回：オリエンテーション 社会科の目標と全15回の講義内容について話します。								
授業計画【第2回】	第2回：教員採用試験（社会）、公務員試験（政治・経済・時事問題等）の解説 教員採用や公務員試験に出題される憲法、国会のしくみ、円高ドル安、などをわかりやすく解説します。								
授業計画【第3回】	第3回：社会科学習指導要領の変遷と新学習指導要領について考える 学習指導要領の変遷と新学習指導要領のポイントについて講義します。								
授業計画【第4回】	第4回：第3・4学年の指導の要点を教科書内容を中心に解説します。 第3・4学年の指導の要点を教科書内容を中心に解説します。								
授業計画【第5回】	第5回：第5学年の指導の要点 第5学年の指導の要点を教科書内容を中心に詳しく解説します。								
授業計画【第6回】	第6回：第6学年の指導の要点 第6学年の指導の要点を教科書内容を中心に詳しく解説します。								
授業計画【第7回】	第7回：フィールドワーク（社会見学）：フィールドワーク（社会見学）を実施し、体験活動を活かした授業作りを考えます。								
授業計画【第8回】	第8回：ESD教育、情報リテラシー教育、主権者教育について考える								
授業計画【第9回】	第9回：観光教育について考える 観光教育の授業づくりについて講義します。								
授業計画【第10回】	第10回：地図帳・地球儀を活用した社会科授業について考える。 地図帳・地球儀を活用した授業づくりについて講義します。								
授業計画【第11回】	第11回：ICT教育について考える ICT教育の授業づくりについて講義します。GIS（地理情報システム）についても紹介します。								

授業計画 【第12回】	第12回：社会科の授業設計論について考える 社会科授業設計の理論について知識の分類の視点から講義します。
授業計画 【第13回】	第13回：模擬授業：各自これまでの学習成果を活かして模擬授業を行います。
授業計画 【第14回】	第14回：社会科の授業研究（Lesson Study）世界で注目されている明治時代から現在まで小学校で行われている日本の授業研究について講義します。
授業計画 【第15回】	第15回：まとめ ※授業設計論と授業分析は、研究だけでなく教育現場の授業や現職教育でも役立ちます。
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 小学校学習指導要領や小学校社会科教科書の内容を深く理解し授業を構想する力を身に付けることができる。 2 社会科授業指導案作成及び社会科授業力を身に付けることができる。 3 社会の教材研究の方法を身に付けることができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	・個人レポート課題の準備 ・グループレポート課題の準備
授業時間外の学修 【復習】	・教員採用試験や公務員試験の過去問の課題
課題に対する フィードバック	・小テスト・レポートを相互評価する。
評価方法・基準	・毎回の授業への取り組み・意欲態度や小テスト（10%）、個人課題（30%）とグループ課題（30%）、最終レポート（30%）を総合的に評価する。
テキスト	・毎回、プリント、スライド資料を配布する。・地図帳必携
参考書	・講義の中で社会科教育関係や教材づくりに役立つ書籍を随時紹介する。
備考	・各受講生の意欲的・主体的な参加を期待します。 ・小・中学校において社会科教育に携わっていた教員が担当する。